

富士山吉田口 手づくり×古本市

主 旨 尊厳ある 北口本宮富士浅間神社 を会場に全国から手づくり作家や古本店主を招き、様々な交流の場を設けて県内外から大勢の来場者を集め、地域の発展と活性化を図る。

テーマ 不易流行（ふえきりゅうこう） 本質を忘れずに、新しいものを受け入れる。何が変わらないのか、何が変わりゆくのか、この場所に来て感じてほしい。

会 場 北口本宮富士浅間神社 参道と杉木立（杉木立は申請中）

開催日 平成 29年5月20、21日（土、日） 10時から 16時 30分

主 催 富士山吉田口 手づくり×古本市 実行委員会
代表 三好克泰 （富士吉田市新倉 852-3 090-8300-0637）

後 援 富士吉田市、富士吉田市教育委員会、北口本宮富士浅間神社、上宿連合自治会、
（予定） 一般財団法人ふじよしだ観光振興サービス、他申請中

内 容

神社ガイド 神社内大鳥居付近に受付を設けて、神社境内をガイドする。（無料）
市 全国より手づくり市、古本市の出展者を募集して、神社内参道で行う。
募集数 手づくり市 参道60（杉木立40） / 古本市 20
飲 食 地元より出店者を募集して行う。
駐 車 場 吉田小学校グラウンド

北口本宮 富士浅間神社

1900年の由緒がある神社で、富士山世界文化遺産の構成資産のひとつ。
古くから富士山の遥拝地であり、日本武尊が『富士山は、この地より拝すべし』と仰せられ祠を建ててお祀りしたのが始まり。
山岳信仰が広まり、江戸時代には富士山信仰の拠点となり、『富士講』の聖地として栄え多くの登拝者が参拝した。
富士山の女神である木花開耶姫命を主祭神とし、安産・子授け・縁結びの他、モノを生みだす『ムスヒ』の御神徳より、芸術・養蚕、酒造や起業・事業繁栄などのご利益があるとされ、広く信仰を集めている。
神社参道は国道から一步入っただけで神聖な空気に包まれてしまう。およそ160mの両側には歴史ある石燈籠と杉木立が凜として立っており、その奥の大鳥居の朱が鮮やかである。拝殿前の御神木、太郎杉と夫婦榎も見応えがあります。

手づくり市 募集要項

出展条件

- プロ、アマ不問ですが、注意事項等を厳守される方。
- 出展作品は、出展者本人の手づくり作品であること。知人、パートナーの作品も不可。仕入品や木材、生地、材料販売は不可。（仕入品を加工したのも不可）
- 開催日両日とも作家本人が展示、販売すること。（1日は不可）
- テント、テーブル等の備品は、出展者が用意して下さい。
- 開催中のテント、作品等の管理は出展者が責任を持つこと。
- 雨天決行です。雨風対策をしてください。（台風などの荒天時は中止します。）
- 来場者との対話の糸口に、〈作家さんのミニ本棚コーナー〉をブース内に併設できる方。（規模、内容は自由で3冊以上。音楽ソフト、映画ソフトも可。） ※任意です。

注意事項

- ブースサイズはバラバラです。テントサイズを指定してください。
- 出店場所は主催者が事前に指定します。
- 電源はありません。
- 境内保護の為、ペグは禁止です。おもりを用意してください。
- 出展場所は平らではありません。高さ調整を準備してください。
- 会場は杉木立の中ですので、薄暗いです。
- 会場内は、禁煙、火気厳禁 ペット不可 です。
- ブースをはみ出したり、のぼりを立てたりしないこと。
- 音響機器や楽器の使用は禁止します。
- ブースエリアについて、参道はスペースギリギリで、杉木立の方がゆったりしています。杉木立は、参道から20mほど離れています。

依頼事項 アンケート、クイズ参加者への商品提供をお願いします。

出展料金 手づくり 6,000円（2日間） ※ブースサイズに関わりません。
古本 2,000円（2日間）

申込方法 申込用紙に必要事項を記入して郵送してください。

申込期間 平成28年12月1日から平成29年1月31日（必着）

申込み先 〒403-0011 山梨県富士吉田市新倉 852-3 クラフト5つの銅貨内
富士山吉田口 手づくり市実行委員会 宛

問合せ先 miyoshi3woody@gmail.com（メール） 0555-24-5344（FAX） 三好

出展依頼 選考結果は3月上旬に連絡いたします。